

令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

大野市上庄中学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

上庄校家庭・地域・学校協議会
(小中学校合同で設置)

地域 (6名)	学校 (6名)	家庭 (4名)
上庄校同窓会代表	上庄中学校 校長・教頭 教務主任	上庄中 PTA 役員
上庄地区区長会長		
上庄をよくするつ どいの会会長		
上庄小中学校校医	上庄小学校 校長・教頭 教務主任	上庄小 PTA 役員
南部地区主任児童 委員		
上庄保育園園長		

※地域コーディネーター (1名): 上庄公民館館長

(2) 協議会の内容

- ①開催回数 3回
- ②開催時期 6月26日(水), 11月27日(水), 2月27日(木)
- ③協議内容
 - ・スクールプランの説明とそれに対する評価と助言
 - ・地域, 学校, 家庭の連携に関する取り組みについて
 - ・地域の安全確保について
 - ・地域の行事への参加について
 - ・家庭教育について
 - ・学校評価の分析と改善策について
 - ・全国学調の分析報告

(3) 協議会における成果と課題

- ・スクールプランについて深く理解をいただき、学校の教育活動について協力体制が整った。
- ・地域の情報を学校と共有できた。
- ・学校評価について分析し、来年度の方針を検討できた。
- ・学校医である委員から、感染症の最新情報をいただいた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

- ・上庄地区を盛り上げるためにはどうすればよいのかを考え、地域を活性化する役割を担う。
- ・「ふるさと上庄」を愛する心と態度を養う。

(2) 活動の実際

これまで本校では、生徒会、部活動、ジュニアリーダーなど多くの生徒が、地域の行事に参加してきた。今年度は、これまで以上に、主体的に地域の行事に参加し、自分たちの活動を地域に発信することによって、地域を活性化させることを目標にして実践してきた。

① 【校外での活動】(上庄夏まつり 上庄敬老会 施設訪問) 全学年

「上庄夏まつり」では、ジュニアリーダー、吹奏楽部の代表が夏まつり実行委員会に参加し、タイムスケジュールや舞台の広さ等の確認を行った。また、地域の方が好まれるような楽曲を会議で尋ね楽譜購入に役立てるなど、生徒の積極的な態度が見られた。

「上庄敬老会」では、吹奏楽部が演奏の合間に、笑点の大喜利を演じ会場を大いに盛り上げた。

「施設訪問」では、生徒会ボランティア委員会と吹奏楽部が合同で訪問し、吹奏楽部の演奏に加え、学校紹介やオセロゲーム・花札などで、地域の方との交流を深めた。

② 【校内文化祭】全学年

校内文化祭に地域の方にたくさん参加していただけるように、生徒会執行部が、オリジナルうちわをデザインし制作することを考えた。学校祭のテーマは「MY COLOR」であるので、自分の色を塗ることができるようなデザインうちわにして、地域の方にも「好きな色を塗ってください」と呼びかけ、対話の場



(様式3)

面を設定した。校内に生徒たちと同じうちわを持って参観する地域の方々を見ると、文化祭を通して地域の方を身近に感じることができた。

③ 【上庄秋のミニ音楽会】全学年

越のルビーアーティストの3名の音楽家を招き「上庄秋のミニ音楽会」を開催した。地域に広く広報するために、チラシを全戸配布(約1,200戸)することを生徒が提案し、直接地域コーディネーターである上庄公民館長にまで届け、配布していただくよう依頼した。

平日にもかかわらず、30名余りの地域の方に来ていただき、音楽会が盛大に行われた。地域の方には大変好評で、毎年秋に行われる「文化・芸術的な催し物」を通して、中学生と交流することを毎年楽しみにしている。



④ 【地域活性化プロジェクト】全学年

「大野の魅力を発信しよう」をテーマに、3年生が総合の時間にipadを使い大野の観光地について調べ、自分たちがツアーコンダクターになったつもりで、1泊2日の大野を満喫するツアーを考案した。それを地域の方や2年生にプレゼンテーションした。また、区長会長、上庄をよくするつどい会長、大野市観光振興室の方々を審査委員として招待し、コンテスト形式で競い合った。

プレゼンテーションでは、中学生の視点で、観光スポットをInstagramに掲載すると人気が出そうな場所を宣伝したり、地域の課題を自分たちなりにとらえ、改善していく取り組みをツアーの中に取り入れたりした発表があり、見に来てくださった地域の方に、1泊2日のツアー企画で大野の魅力を十分に発信することができた。

審査員の方々も、中学生が地元である大野に、愛着を持ち主体的によくしていこうという姿を見て感心している様子であった。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・地域コーディネーター(1名) 上庄公民館館長

公民館長である地域コーディネーターが調整役となって、生徒会執行部やジュニアリーダーの生徒を掌握し連絡してくださった。上庄中学校の行事に関しては、公民館便りを通して広報していただいたり、「上庄秋のミニ音楽会」では、印刷されたチラシを公民館から31地区の区長さんを通じて全戸配布して下さったりした。また、家庭・地域・学校協議会では、地域コーディネーターとしての学校に対して貴重なご意見も伺うことができた。

(4) 特に工夫した事項

- ・地域社会の中心である上庄公民館と連携を密にし、生徒を交えた会議を持った。
- ・地域の行事に参加するときには、生徒たちが盛り上げることを意識した。
- ・生徒が地域に発信する行事や活動を目指した。

(5) 成果と課題

- ・地域の大きな行事である「上庄夏まつり」には、毎年、吹奏楽部が参加しているが、今年度は、コンクールの日と重なってしまった。「上庄夏まつり」への参加については、生徒の意思を尊重することとなった。3年生にとって最後のコンクールではあったが、生徒たちは、「上庄夏まつり」への参加を選び、自分たちの地元であるまつりで精一杯演奏した。生徒たちには「ふるさと上庄」を愛し、貢献しようとする態度が備わっていると感じた。
- ・生徒たちに、地域に発信するように意識付けをしたことが、生徒のやりがいや充実感につながった。生徒たちは、校外に出かけ地域の方の喜ぶ顔を見たり、お礼の言葉を聞いたりして、来年度への意欲にもつながったようである。
- ・人口減少とともに、地域に活気が薄れたり、地域の催し物が縮減されたりしつつある。若い世代から地域に関わり、地域をよりよくしていこうと考える機会をつくることが重要である。